



7月1日、丸井今井デパートにて、販売実習会が行われました。保護者や地域の事業所のサポートを頂き、高校3年生34人で9つの町内事業所から仕入れた90点の商品を販売しました。販売前から、アスパラ、トマトの販売コーナーには30人ほどが並び、2時間で完売。生徒たちは元気にお客さんを呼び込み、チラシやかんごを手渡すなど細やかな接客を心掛けていました。商品開発をした超え、訪れた人は1,000個を大盛況でした。



小学5年生 総合
「まちづくり調査隊」

5年生総合的な学習の時間では、『森とまちづくり』をテーマに学習を進め、個々の興味関心に合わせて地域の人や取り組みを取り材していまります。子どもたちがあげたテーマは「木を生かした建物」「町内木材の使い道」「森の動物」「森の水と魚」「森を生かしたお祭り」「木のエネルギー」の6つ。それぞれ、キタクラフト、獣友会、谷組、森ジヤム実行委員会、役場を訪ねて、谷本にした内で発定していき予定です。



「なぜ下川でこの仕事をしているんですか?」

下川にはすぐ近くに森がある。樹（立木）と木（木材）のどちらも近くで見ながら仕事ができるからだよ。できるだけ地域の木材を使って、一から人が暮らす家をつくるのは、達成感があるものだよ。

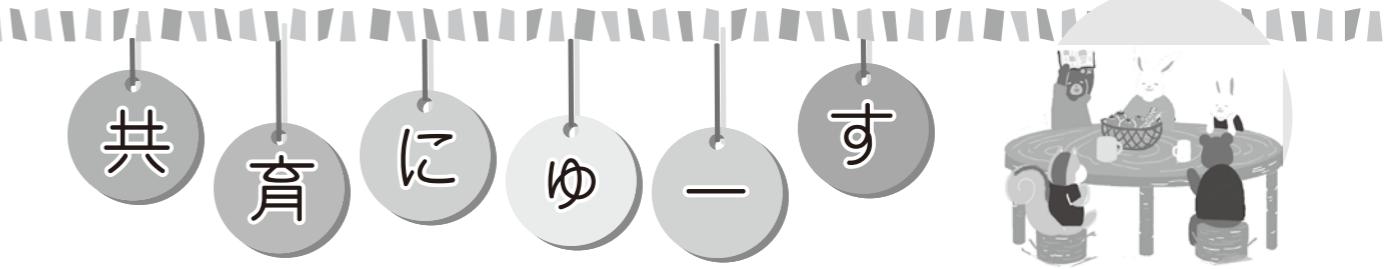
キタクラフト 加藤さん



「みんなに知ってほしいことはありますか?」

動物の命を絶つことに様々な考えの人がいる。でも、心がけていることは、苦しめないように瞬間的に事を終えること。面白がって苦しむのを見るようなことは違う。猟友会メンバーは9人。高齢の人ばかりだから若いハンターを育てていかなくちゃ。

下川獵友会 野崎さん



第2回 学校運営協議会を開催

7月6日、委員14人が集まり、第2回の会議が行われました。前回同様、「義務教育9年間で目指す姿」の中で定めた地域の願いについて、下川中学校から取り組みの説明がありました。1～3年生が各教科で7つの姿につながる取り組みがあるかを○○で示し、具体的に夏休みの地域でのイベント等をまとめたチラシの作成などの説明もありました。委員からは、「授業での取り組みだけでなく、部活や個人で地域の関わることもできるのでは」「盆踊りや町民運動会など、大人も子どもも交じって楽しめる企画が下川でもつくつていけたらいい」などの意見が出ていました。

「義務教育9年間で目指す姿（中学校3年間）」

- 願い① 自分の興味のあることを探究しながら自分なりの学び方をみつけ、主体性を發揮し学び続ける

願い② 相手の考えを引き出し、自分の思いを伝え対話することができる

願い③ 町内外の多様な大人と出会い、自分の将来の可能性を広げる

願い④ 町の自然・文化・歴史を知り、未来の町のあり方に考えを巡らすことができる

願い⑤ 小学生や大人から頼られ、地域の人と共に地域の活動に参加する

願い⑥ 運動を通じて自分の心と体を健康に保ち、冬のスポーツにも興味をもつ

願い⑦ ゲームやSNS等の使い方や情報リテラシーを身につけ、自己管理できる



■お問い合わせ 教育委員会 ☎4-2511内線516 ☆4-251111